

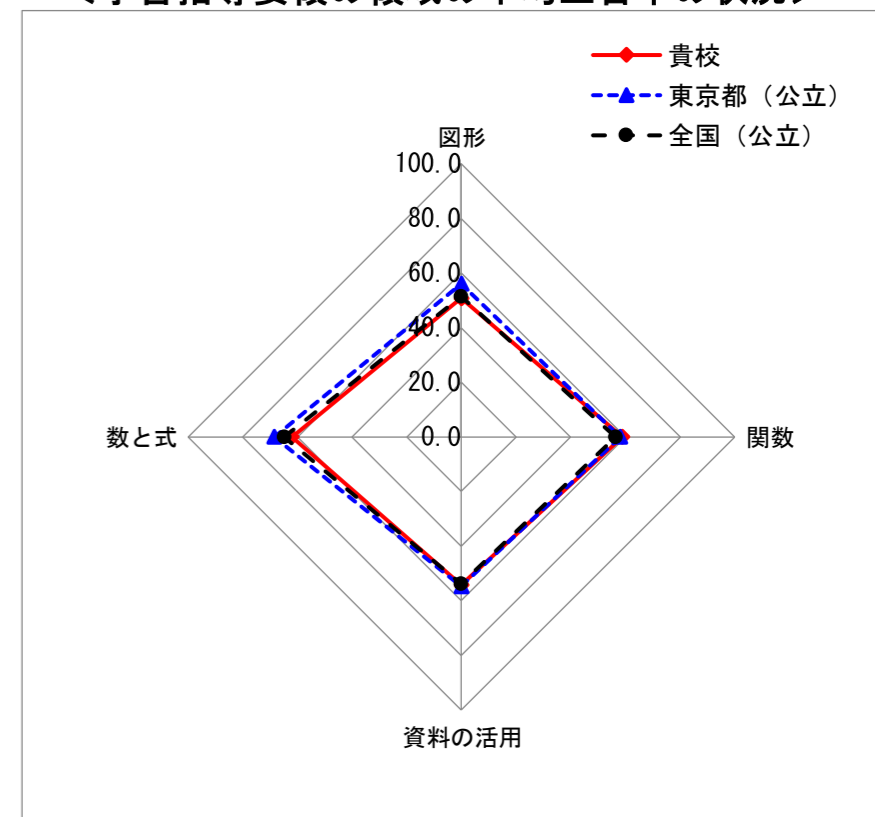
・以下の集計値／グラフは、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。
※ただし、5月27日に調査を実施していない学校については、5月28日以降6月30日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象生徒数		江戸川区立清新第二中学校	東京都（公立）	全国（公立）
		60	70,014	903,253

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体			57	60	57.2
学習指導要領の領域	数と式	5	62.0	68.5	64.9
	図形	4	50.8	56.0	51.4
	関数	3	58.9	58.1	56.4
	資料の活用	4	54.2	54.7	53.8
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	7	40.2	44.6	41.1
	数学的な技能	3	75.0	79.6	77.7
	数量や図形などについての知識・理解	6	66.7	68.1	65.6
問題形式	選択式	2	56.7	55.6	52.4
	短答式	9	68.5	72.8	70.5
	記述式	5	35.3	38.8	35.0

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率（%）			無解答率（%）		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	貴校	東京都（公立）	全国（公立）	貴校	東京都（公立）
1	$(5x+6y) - (3x-2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2(1) ア					○		○		71.7	80.4	77.1	1.7	0.8	0.8	
2	数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で、一元一次方程式をつくることのできる	1(3) ウ					○		○		66.7	74.4	71.3	13.3	7.2	7.6	
3	中心角60°の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ	扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している		1(2) ウ					○	○		68.3	72.6	68.1	0.0	0.4	0.3	
4	経過した時間と影の長さの関係を、「...は...の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している			1(1) ア				○		○	48.3	50.2	48.0	15.0	9.1	9.3	
5	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられたデータから中央値を求めることのできる			1(1) ア			○		○		86.7	84.1	84.5	0.0	1.2	1.0	
6(1)	四角で囲んだ4つの数が12, 13, 17, 18のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	2(1) イ,ウ					○		○		83.3	85.6	83.9	1.7	3.5	3.5	
6(2)	四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(1) イ,ウ					○		○		60.0	67.4	61.8	11.7	12.6	15.4	
6(3)	四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる	2(1) イ,ウ					○		○		28.3	34.9	30.3	33.3	27.9	29.9	
7(1)	与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる		1(1) ウ					○	○		96.7	93.9	93.5	0.0	2.1	2.0	
7(2)	与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			1(1) エ,オ			○		○		31.7	30.3	27.7	28.3	22.0	24.7	
8(1)	気温差が9℃以上12℃未満の階級の度数を書く	ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる			1(1) ア				○	○		76.7	85.1	83.0	5.0	4.2	4.2	
8(2)	2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いることの前提となっている考えを選ぶ	相対度数の必要性和意味を理解している			1(1) ア				○	○		45.0	38.5	36.8	1.7	1.3	1.0	
8(3)	「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			1(1) イ			○		○		8.3	11.2	11.1	40.0	31.9	32.2	
9(1)	四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になること理由を説明することができる		2(2) イ,ウ				○		○		48.3	50.0	44.3	3.3	3.3	3.6	
9(2)	錯角が等しくなることについて、根拠となる直線FEと直線BCの関係を、記号を用いて表す	錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している		2(1) ア					○	○		65.0	68.5	64.3	16.7	13.3	14.2	
9(3)	∠ARGや∠ASGの大きさについていつでもいえることを書く	ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる		2(1) ア				○		○		21.7	33.0	28.8	28.3	27.1	28.7	